

月間報告書 2022年2月分

学籍番号	留学先	ザルツブルク大学
氏名	留学期間	2022/01/01~2022/09/19
年次	留学区分	派遣留学

I. 受講時間数

2月の教育編は入力がありません

II. 授業内容

2月の教育編は入力がありません

III. 生活編

最初に伊丹空港から羽田空港、羽田空港からフランクフルト空港に行きましたが、フランクフルト空港では3回も直前に搭乗口が変わりとても困惑しました。そしてザルツブルクに到着しまず驚いたのが、アルプス山脈に囲まれていることです。とても綺麗で壮大でした。そして迎えに来てくれるパディと合流し、そのまま寮の鍵を受け取り部屋に着いてからパディと一緒に買い物に出かけました。スーパーでSIMカードも買い携帯も使えるようになり一安心しました。とりえず最初の1週間は、慣れることに必死でした。必要なものを周りのスーパーで揃え、バスに乗り在留届を提出しに行きました。バスのチケットの買い方がよくわからないので周りの人に聞いたりしてなんとか市役所に行くことができました。現地の人とはとても優しく何かを聞いたら丁寧な答えで返ってきました。そうして1週間が経った頃、大学のオリエンテーションウィークが始まりました。最初に簡単に説明を受け、みんなでホーエンザルツブルク城に行きました。そこはザルツブルクにある有名な要塞で丘の上にある観光地です。そして他のエラスムス学生と色々話して、たくさん友達が出来ました。それまではパディ以外に友達がいなかったので色々な国の人と友達に慣れてとても嬉しかったです。3月に入りようやく授業も始まって思ったことがあり、それは英語は世界最強の言語であることでした。留学生の人たちと一緒にいることが多いので常に会話は英語、さらには大学にも違う学期からいる留学生もたくさんいるので話す言語は英語です。私は韓国人とアルメニア人の友達と一緒に行動していて、韓国語と日本語、アルメニア語、英語、ドイツ語で会話しています。とてもグローバルを感じる瞬間です。他にも沢山の色々な国の友達ができてこれからの大学生活が楽しみです。困ったことは、洗濯機の回し方と鍵の開け方です。洗濯機は寮の共通のものでアプリを入れて使わないといけませんし、オーストリアの洗濯機は温度が高いので細かな設定をするのが難しかったです。さらにはヨーロッパの鍵開け方は日本語と全く違うので最初は10分程度鍵を開けるのに時間がかかりました。それとザルツブルクはかなり方言があり、日本の大学で学んだドイツ語と違うことが多々ありそれは戸惑い驚きました。

月間報告書 2022年3月分

学籍番号 留学先 ザルツブルク大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	German course	ドイツ語コース	810	授業
2	Introduction HCI	人工知能研究	700	授業
3	Introduction to English Language Teaching	英語教育	900	授業
4	Introduction to the study of Literature	文学研究入門	450	授業

II. 授業内容

No. 1

私はA1のコースを受けています。テストではA2でしたが、指定された曜日がもう既に授業が入っていたのでA1になりました。ですが、ドイツ語を英語で学ぶ面白さ日本で学ぶ違いを感じています。授業内容は人物紹介や買い物ドイツ語でしています。

No. 2

この授業は、講義とディスカッションを通して身の回りにある人工知能を研究する授業です。グループに分かれ、学校近くで使われている人工知能の機能を見つけそれについて利点等を話し合い発表しました。まだ一回しか授業を受けていませんが、初めての分野で戸惑いましたがとても面白いです。

No. 3

この授業は主に学校でのより効率的な英語の学び方をディスカッションと講義を通して学んでいます。英語教育には主に3つのタイプがあります。English Native language, English second language, English foreign languageのENL, ESL, EFLです。私たちの国がどのタイプに当てはまるかによって教育の仕方を変える必要があり、それぞれの教育の違い、理由をペアになってディスカッションしました。

No. 4

この授業は主に講義のみです。様々な文学を題材として、その文学のバックグラウンド、何を伝えたかったを考える授業です。文学には文字だけでは伝わらない暗号だったり、意図が隠されていることを今回の授業では学びました。これからの授業も楽しみです。

III. 生活編

3月は授業が始まり、クラスで友達もできてみんな優しく一緒にディスカッションなどをしてくれます。寮生活は段々と一人暮らしにも慣れて自炊はもちろん、自分の生活ルーティンを持つことができました。朝にランニングをしたり、英語ドイツ語の勉強をしたり充実しております。オリエンテーションで仲良くなった韓国人の子たちの寮にお邪魔することが多くなりそこでたくさんの友達に恵まれました。学校終わりはいつも寮の共有スペースで大体韓国人、イタリア人、モロッコ人、オーストリア人と談笑をしたりみんなでゲームをしたりしています。各国の郷土料理を作ったりしています。私は大巻きを作りました。喜んでくれたので嬉しかったです。そして、3月はイタリアへ留学している親友に会いに行きました。イタリアのフィレンツェは芸術に溢れ、活気に満ちている都市でした。沢山の美味しいものを食べ街を探索しました。ヨーロッパ内は簡単に回ることができるのでぜひ旅行も沢山して欲しいです。その際には、ライオンエアがお勧めです。これはヨーロッパ内を周遊する格安航空で例えば今の時期はザルツブルクからロンドンまでたったの15€で行くことができます。月末には、ESNのアルプススキーキャンプがありました。そこではザルツブルクだけではなくウィーンからのESN生徒と仲良くなることができました。久しぶりに日本人に会いました。夜にはゲームがあったりパーティーがありました。パーティーはお酒が全て無料で音楽が流れず海外！！を感じました。とても楽しかったです。肝心のスキーは日本とレベルが違いすぎて正直怖かったです。ですが標高3000m越えのアルプスでスキーは圧巻の景色だらけでした。そして私たちがあまりにもスキー出来ずに困っているとオーストリア人に限らず、様々な国の人が「助けはいるか？」と歩み寄ってくれて中にはスキーと一緒に滑ってくれてレクチャーしてくれたり、友達が落とした携帯を探し出してくれたりと本当に温かい国だと再認識しました。ここに来て、嫌な思いをすることもたまにはあるのかなと思いましたが、全くありません。とても温かい国です。

月間報告書 2022年4月分

学籍番号 留学先 ザルツブルク大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	German course	ドイツ語コース	360	授業
2	Introduction HCI	人工知能研究	200	授業
3	Introduction to English Language Teaching	英語教育	360	授業
4	Introduction to the study of Literature	文学研究入門	180	授業

II. 授業内容

No. 1

ヨーロッパはイースターホリデーに入り、オーストリアでは4月9日から24日まで休暇でした。その為授業も4回しかありませんでした。授業のスピードは日本に比べてとても早く感じます。授業では例などをクラスメイトと頭を抱えるまで出し合い発表することが多いです。先生は先月まで英語で話していたのがオールドドイツ語になりました。最近では誰かとどこかに行く約束等や電話での対応などを勉強しています。

No. 2

イースターホリデーの影響で二回しか授業がありませんでしたが、グループ別に分かれ身の回りにあるHCIについて発表をしました。わたしはオーストリア人のクラウドピアとペアを組んでキャンパス周りのFREE WI-FIについて約10分程発表をしました。

No. 3

この授業も二回しかありませんでした。対面授業のはずが最近ではオンライン会議での授業形態です。今月一回目の授業はクラスルームに行きましたが突然オンラインになったとクラスメイトから聞き驚きました。ほとんどのクラスメイトが教室にいて一緒にオンライン授業を受講しました。

授業内容は、オーストリアではどのような教育を行っているかの調査結果を話し合いました。私はゼミでドイツ語圏のオルタナティブ教育についての研究をしているので興味深かったです。オーストリアでは多言語主義の下教育が進められており、学校カリキュラムを遂行する上で最低限英語は身につきます。

No. 4

この授業も二回しかありませんでした。この授業は沢山の英文学を紹介する授業で今回はシェイクスピア等の少し昔の文学の内容を専制の解釈のもと学びました。話の比較として日本文学が出てくるときもあり、その時はいつも先生に意見を求められるので少しドキドキしながら受講しています。

III. 生活編

私はイースターホリデーで韓国人の子2人と3人でスイス、フランス、スペインへ旅行に行きました。イースターホリデーは約1ヶ月程ありほとんどのヨーロッパの人は旅行や帰省します。

私たちは最初にザルツブルクからチューリッヒへ向かいました。チューリッヒの街並みはヨーロッパそのもので素敵でしたが、やはりスイスはお値段がかわいくないと正直思いました。オーストリアも物価が高いと言われていますが、それを遥かに超える物価の高さでした。そしてスイスフランスが通常使われていますが、ユーロも地元のスーパー等でも使うことができ両替する必要はありません。私たちも実際に両替していません。チューリッヒの後は愛の不時着のロケ地にもなったグリンデルワルト周辺地域に向かいました。ですが、乗り換えに失敗しジュネーブまで行ってしまいました。いきなりドイツ語圏からフランス語圏になったのは今では笑い話です。スイスには1週間ほど滞在しました。自然あふれるとても豊かな国だと感じました。

そして次にバーゼルからフランスへ向かいました。フランスはやはり世界の観光地どこにいてもたくさんの人だかりがありました。パリ観光に、モンサンミッシェル、パリディズニーランドと満喫した1週間を過ごしました。フランスではルーブルを含むたくさん美術館にも行きました。ここで驚いたことは、日本では多くの美術館が撮影禁止なのに対しどんな名画例えばモナリザでも写真撮影が可能だったことです。モナリザとのツーショットは一生の思い出になると思います。教科書で見るような名画を実際に目に焼き付けることができ嬉しく思いました。さらには、フランスはとても学生に優しくかったです。凱旋門、ルーブル美術館に至るまで全ての観光スポットが学生は無料で入ることができました。パンやスイーツも全てが美味しく大満足の1週間でした。

次にパリからバルセロナまで移動し観光しました。バルセロナではサクラダファミリアをはじめとする建築家ガウディの建物を観光しました。全てが圧巻でした。さらにはマドリッドにも移動し市内を観光、さらには旧市街地のトレドにも足を伸ばしました。スペインでは内陸国のオーストリアでは味わうことのできない魚介類を美味しくいただけました。

数多のハブニングにも見舞われましたが、この1ヶ月は私の人生に色濃く残る記憶になると思います。さらには、ハブニングにも自分達で対応しなければいけないし、さらには初めての海外の方との旅でしたが、とても満喫することができました。

月間報告書 2022年5月分

学籍番号 留学先 ザルツブルク大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Germany corse	ドイツ語コース	720	授業
2	Introduction to English Language Teaching	英語教育	720	授業
3	Introduction to the study of Literature	文学研究入門	360	授業
4	First Philosophy : The System of Beings	古代哲学	1170	授業

II. 授業内容

No. 1

今月は過去形や時間の伝え方を習いました。昨日自分は何をしたか、何時に何ををしたかをクラスメイトと伝え合いました。ドイツ語は過去形の時にhaben や sind が必須になり英語と同じように形が変わります。過去形はいくつかのグループに分かれていて、みんなでそれらの共通点を見つけグループ分けしました。

時間の伝え方には二通りあり、例えば3時45分という伝え方と4時の15分前という伝え方があります。さらには五分前、10分後など様々な伝え方があります。最初は頭で考えてから口に出していたのでスピードは遅かったですが、いまでは頭で考えるより早く口に出せるようになりました。

No. 2

今月は発音の教え方について学びました。良い発音を習得するためには何が必要かクラスメイトとディスカッションしました。

そして話し合った結果、4つの要素が必要です。それは認知、心理的アピール、知覚的アピール、言語固有の特徴に気づくことです。まず教師側は、子音母音など発音の構造をしっかりと熟知する必要があります。生徒は4つの要素を用いて実践します。それらをクラスメイトと実際に先生役、生徒役とわかれ模擬実験しました。この授業は自分が言語を学ぶ身としてたくさんの収穫があります。

No. 3

今月はテストが一回ありました。内容は何冊から文章を抜粋してこの文章の特徴や、使われている技法を答えるものでした。テストに向けて勉強をしていましたが、日本で使われている技法と全く違うことはないのですが、英語の語順がもともとちがうため難しかったです。

授業では一冊の文学を題材にいつもと同じようにクラスメイトとディスカッションしました。

No. 4

この授業は2週間毎日という授業形態でした。古代哲学は私にとってあまり身近なものではなく授業内容、さらには数多くの難しい専門的単語が授業中飛び交いついていくのに必死でした。ですが1週間もすると出てくる単語も同じようなものになり授業内容も当初とくらべ理解できるようになりました。

多くはギリシャやペルシアの古代哲学についての内容で、主にアリストテレス、プラトン…の理論を学びました。

最後に10分間、テーマは何でもいいのですがプレゼンして終了だったので、私は「アリストテレスの行為と効果の理論」について発表をしました。プレゼン準備はとても大変でした。内容も難しかったので数日間、図書館に引きこもって準備した結果教授に褒めていただきました。

この授業が行われていたキャンパスはザルツブルグ大学の中で古いキャンパスで、宮殿のような細工が多く部屋には昔ながらの暖房機器がありヨーロッパを感じました。

III. 生活編

五月は平日は寮の友達と放課後にザルツブルグの名所Augustinerオーストリア最大のビアガーデンに行ったり、天気がいい日が多かったので湖に行ってバレーやピクニックをしました。最近韓国人とイタリア人フィンランド人モロッコ人オーストリア人と行動を共にすることが多いです。もう数か月だったので、みんなとどんどん仲良くなり一緒にいてすごく楽しいです。週末にはアルメニア人の友達とフランクフルトへkpopのコンサートがあったので一泊二日で行ってきました。大好きな韓国アイドルたちを直接見ることができてとてもうれしかったです。アルメニア人と日本人がヨーロッパで韓国のコンサートなんてなんだか不思議だねと二人で話したり、レストランでブラジル人4人組と南アフリカ人と友達になりなんだか一期一会を感じました。

寮では週末BBQがあり、みんなで食材を持ち寄り音楽もDJ役がいるなど本格的でとても充実しました。このBBQにはザルツブルグが地元の人たちも数多く参加していて人脈を広げることができ嬉しかったです。ですがみんな生粋のオーストリア人ではなく、セルビアやモンテネグロ、マケドニアから親が移住して自分たちは生まれも育ちもザルツブルグだと言っていてヨーロッパは近隣に様々な国が多いので日本に比べてやはり色々な人種の人々が住んでいるんだなあと思いました。

この現地の人たちと友達になり、車やバイクでザルツブルグの名所に連れていってもらいました。やはり現地の方々は色々な情報を知っていて教えてもらい興味深かったです。

就職活動はやはり現地から時差もある中で面接を受けること、毎日が英語やドイツ語な面接準備、練習はなかなか簡単なものではありませんでした。夜中の2時に面接だったり対面面接のところをオンライン形式に変えていただいたり大変でした。

ですが、留学に対して理解がある企業が多く皆さん関心を持って話を聞いてくださいます。一旦、日本に帰るまでは就職活動はお休みですがこれからも頑張ろうと思いました。

月間報告書 2022年6月分

学籍番号 留学先 ザルツブルク大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	German course	ドイツ語コース	810	授業
2	Introduction to English Language Teaching	英語教育	900	授業
3	Introduction to the study of Literature	文学研究入門	450	授業

II. 授業内容

No. 1

全てのセッションが終わり、一から復習をしました。教科書のまとめのページを使って項目ごとにクラスメイトと問題を解き先生が解説をするという流れでした。最後にはテストがあり、無事に合格して一安心でした。

No. 2

今月は心理言語的理由を明確に説明する理論的な根拠を提示をペアになってする授業でした。私にとってはとても難しかったです。生徒たちにどうアプローチをしていくのかを模倣的なことしながら学びました。

No. 3

今月は“Jean Rhys”と“Ernest Hemingway”について話し合いました。一人称なのか、三人称主観なのかだとか読者にどういった影響を与えるのかを推測しディスカッションします。もうそろそろテストも近い時期だったのでみんなディスカッションに熱が入っていました。

III. 生活編

先月出会った現地の友達ととっても仲良くなり、毎日のようにどこかに連れて行ってもらったり集まりに参加したりととても充実していました。今月は2年ぶりに移動式遊園地Dultに行きました。映画で見るようなとってもスケールの大きいキラキラした遊園地で沢山のオーストリア料理もビールもあつてとっても楽しかったです。最近、自分の言語力が着実に伸びていることを実感したりすることがあり留学して本当に良かったなあと思う毎日です。

みんなでパーティーしたあとに違うパーティー、さらにまた違うパーティーにいったり本当にヨーロッパの人々はパーティーが好きなんだと思いました。大学の屋上でまだ授業があり時間帯なのに、パーティーだったり、ビール無料配布だったりコロナを全く感じませんでした。マスクも六月からザルツブルクでは病院以外の着用義務がなくなり、もうマスクを持ち歩いていません。今日は変わらず湖に行ったり、ハイキングやピクニックなどのアウトドアを楽しんでいます。

食生活もすっかりヨーロッパスタイルに慣れ体重が増えてしまいましたが、それを友達にいうと太ることの何が問題なの?!と言われ日本との違いを感じました。今月もとても充実した毎日でした。